

第168回電波利用懇話会

「地上テレビジョン放送の高度化技術に関する 研究開発の結果と今後の取組」

ご 案 内

一般社団法人電波産業会

近年超高精細映像対応テレビの普及が目覚ましく、2018年12月には、国内の4K/8Kテレビの販売台数が薄型テレビ販売全体の48%となったと伝えられています。インターネットを使った4K動画配信、UHD・BDの普及などに加え、新4K8K衛星放送も始まり、ますます超高精細映像を視聴する環境が整ってきました。地上テレビジョン放送においても、使用できる周波数が非常に逼迫する中、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されることをきっかけに、超高精細度放送やスマートテレビ等の機能を活用した新たな放送サービスに対する視聴者のニーズが高まっています。

政府は、世界先端IT国家創造宣言（平成27年6月閣議決定）において「2020年には、4K・8K放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K番組やスマートテレビに対応したサービスを楽しむ環境を実現」と記載し、「4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合第二次中間報告（平成27年7月30日公表）」において「地上放送における4K・8Kの実現には技術やコスト等の解決すべき課題は多い。このため、より効率的な伝送を実現すべく、速やかに総合的な研究開発の取組を進める。」としています。

こうした背景から総務省では、2016年より3年計画で、超高精細度地上放送を可能とする伝送容量拡大技術や伝送効率向上技術等の確立により周波数の有効利用の一層の向上を目指して、「地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発」を実施してきており、その結果として、3月に伝送実験が公開されたところです。

今回の電波利用懇話会では、総務省情報流通行政局 放送技術課 加藤課長補佐には、地上テレビジョン放送の高度化に関する総務省の取組をご講演いただき、日本放送協会 放送技術研究所 上級研究員の土田様には、地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発の結果についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2019年6月13日(木) 午後2時から4時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名 : 地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発の結果と今後の取組
- 4 講 師 : 総務省情報流通行政局 放送技術課 課長補佐 加藤 智之様
日本放送協会 放送技術研究所 上級研究員 土田 健一様
- 5 参 加 者 : 70名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 申 込 先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費 : ARIB正会員、賛助会員は無料、非会員は5,000円
- 8 問 合 せ 先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 小田島 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2019@arib.or.jp

以上